

第64回 日本選手権（25m）水泳競技大会 監督者会議資料

大会の参加に当たって

- (1) 各所在地の自治体や学校・職場から、移動制限等の要請が出ていないか、最終確認を行うこと。
- (2) 本連盟ホームページの2022年8月15日付「新型コロナウイルス感染拡大時における水泳競技会出場について（再通知）」を確認した上で、参加すること。
- (3) 入館前7日間において、以下の事項に該当する場合は、入館できない。出発前に入館者全員に該当しないか確認しておくこと。
 - ・ 平熱を超える発熱
 - ・ 咳（せき）、のどの痛みなどの風邪の症状
 - ・ だるさ（倦怠感）息苦しさ（呼吸困難）
 - ・ 嗅覚や味覚の異常
 - ・ 体が重たく感じる、疲れやすい等の症状
 - ・ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
- (4) 入館前14日以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合は、入館できない。
- (5) 「健康チェック表」を入館者全員が持参しているか確認すること。提出できない場合は入館できない必ず責任者が、選手ならびに来場者の健康状態を確認し、確認欄に押印またはサインをすること。宿泊を伴う場合は、当日の検温ができるように各自の体温計を持参しておくこと。
- (6) 厚生労働省から提供を受けている、新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）を活用できるよう準備する。COCOAを入れている場合は、電源をONにした上でBluetoothを有効にすること。
- (7) マスクを着用していない者は入館を認めない。館内では、泳ぐとき以外はマスクを着用すること。招集所内でもマスクを着用し、会話を控えること。入場準備の際はマスクをはずしてもよい。招集所ではずしたマスクは、服のポケットか袋に入れること。
- (8) コーチは、練習時の大きな声での指示、ホイッスルの使用を控えること。レース・練習後のマスクをしていない選手との会話では、マスクに加えフェイスシールド、またはアイガード・ゴーグルを着用し、目からの飛沫感染も防ぐこと。
- (9) 入館から退館時までの全ての場面で、人との距離（2m以上）をとって行動すること。
- (10) レース終了後、ミックスゾーンの通過時、サブプールまでの移動中は、マスクを着用すること。すぐにマスクを着用できない場合は、ミックスゾーンの手前で、呼吸を整えてから着用すること。
- (11) 唾や痰をプールサイドに吐かないこと。（レース直前のスタート台付近や、サブプールでの練習時）
- (12) 食事は、選手席・チームエリアのみ、人との距離（2m以上）を保ち単独で取ること。
- (13) 会場までの交通機関内で、マスクの着用、人との距離、座席間の距離、車内換気、会話などに留意すること。
- (14) 以下のものについては、持ち込み禁止とする。
 - ・ チーム共有のドリンクサーバー、アイシングバス
 - ・ メガホン、横断幕、のぼり
 - ・ チーム共有のストレッチマット、チューブ、バランスボール、トレーニングバイク等の運動用具（個人専用は持ち込み可）
 - ・ メインプールへのパドル・コード類（サブプールは可）

1 競技について

- (1) 本競技会は、2022年度(公財)日本水泳連盟競泳競技規則にのっとり実施する。
- (2) 競技は、予選・B決勝・決勝ともに8レーンで、タイムスケジュールどおりに行う。
- (3) 女子800m自由形・男子1500m自由形はタイムレース決勝とし、最終組は決勝時間帯に行う。400m自由形・400m個人メドレーは予選と決勝を行う。それ以外の種目は、予選とB決勝・決勝を行う。
- (4) 決勝は、予選の結果上位8名が出場できる。ただし、棄権者が出たときは、次点上位より順次出場権を与える。
- (5) B決勝は、予選申込者25名以上の種目に限って行う。
- (6) B決勝は、予選の結果、決勝進出者8名を除き上位8名(9位~16位)が出場できる。ただし、棄権者が出たとき、または決勝へ繰り上げ出場者が出たときは、次点上位より順次出場権を与える。
- (7) B決勝・決勝の進出について、同記録で予定人員を超えた場合は、スイムオフを行う。
- (8) 補欠が同記録で複数いる場合は、抽選を行う。補欠は、B決勝のある種目は3名、予選・決勝のみの種目は2名とする。
- (9) 招集は競技開始10分前から行う。本人確認のため、招集所にはADカードを持参すること。招集の際に水着の確認を行う。
- (10) 予選を棄権する場合は、所定の用紙を当該競技当日の予選競技開始20分前(9:40)までにリゾリレーションデスクに届け出ること。時間内に届け出を行わなかった場合は、棄権料3,000円を徴収する。また、無断で棄権した場合は、さらに罰金3,000円を徴収する。決勝を棄権することはできない。やむなく棄権する場合は、予選競技終了後1時間以内に、棄権料3,000円を添えてリゾリレーションデスクに届け出ること。女子800m・男子1500m自由形予選は、組み換えを行うことがあるので、監督者会議までに届け出ること。
- (11) 競技成立後は、折返監察員の指示によりプール横から退水すること。ただし、決勝1位の選手は自分のレーンから退水し、直ちにフラッシュインタビューを受けること。
- (12) 800m自由形・1500m自由形の周回通知は、A面は水中ラップカウンター、B面は周回板を使用し、コールは行わない。
- (13) 公式計時SEIKOによる計時バックアップは、A面は水中ビデオ計時装置、B面は半自動計時装置を使用する。
- (14) ゴールタッチは、タッチ板の有効面に確実にタッチすること。
- (15) 選手紹介は、予選は組のみ紹介、B決勝は各レーンで選手紹介、決勝は入場ゲートで選手紹介を行う。
- (16) 本競技会は上訴審判団を設置する。
- (17) 本競技会は、日本アンチドーピング規定が適用されるので、常にADカードを携帯すること。

2 インタビュー

- (1) 予選・B決勝・決勝とも、ミックスゾーンでインタビューを行う。
- (2) 決勝の優勝者は、各競技終了後に、テレビ朝日によるフラッシュインタビューを行う。

3 表彰について

- (1) 1位から3位にメダルを授与し表彰する。1位から8位に賞状を授与する。
- (2) 賞状の受け取りと、IDカードによる記録証の発行は、選手受付で行う。記録証の発行時間は、10:30から予選終了後1時間、決勝競技開始から決勝終了後30分までとする。
- (3) 最終競技終了後、JOC杯授与式を行う。

4 全体スケジュール

期 日	事 項	開門時間	予選競技		決勝競技		閉門時間
			開始時間	終了予定	開始時間	終了予定	
10月21日(金)	公式練習日	11:00	練習時間 11:00 ~ 18:00				18:15
10月22日(土)	1日目	7:30	10:00	12:30	14:00	18:20	19:05
10月23日(日)	2日目	7:30	10:00	11:40	14:00	17:10	17:55

5 プールの使用について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、練習時に各レーン内で待機する場合、スタート練習で並ぶ場合も距離を保つこと。練習時の大きな声での指示、ホイッスルの使用を控えること。ただし、メインプールの練習時間に限り電子ホイッスルの使用は可とする。

(1) メインプール

- ① 水深は2 m、水温は27.5℃に設定する。
- ② 練習はA面を競技開始30分前まで、B面を競技開始15分前までとする。
- ③ 昼休みの練習は、当日のB決勝・決勝（タイムレース決勝最終組を含む）の出場者とする。
- ④ 練習時のレーン設定
A面……1レーン：ペースレーン、8レーン：ダッシュレーン
B面……1レーン：ダッシュレーン、8レーン：ペースレーン
- ⑤ パドル・コード類の使用は禁止する。

(2) サブプール

- ① 水温は27.5度に設定する。
- ② 1レーンはダッシュレーンとする。
- ③ 6レーンはペースレーンとする。
- ④ 競技中、電子ホイッスルも含めてホイッスルの使用を禁止する。
- ⑤ パドルの使用については、安全面に十分留意すること。コード類の使用については、他の選手・コーチの妨げにならないよう十分留意し、7レーンでのみ許可する。

6 水泳場の使用について

- (1) ADカードを持っている選手・付添・クラブ関係者以外は入館できない。
- (2) 館内にいるときは、ADカードを常時首から下げて着用すること。また入退館に際しては、ADカードを提示し、係員の指示に従うこと。紛失した場合は、有償（3,000円）にて再発行を受けること。ただし、付添者ADカードの再発行は行わない。
- (3) 選手・付添は、1階レストラン側入口からの入退館・外出とする。
- (4) クラブ関係者は、2階観客席入口からの入退館・外出とする。クラブ関係者は、競技開始1時間前から、2階観客席入口から入場できる。
- (5) マッサージ台は、2階デッキのチームエリアに設置できる。ダイビングプール周辺、サブプールのスロープ、サブプールのプールサイド等は場所取り禁止とする。
- (6) サブプールのプールサイドは、練習時の荷物置き場とする。マッサージ行為は禁止する。
- (7) 荷物は、入館日から10月23日まで、チーム席に近い観覧席の車いすスペースに置くことができる。
- (8) 更衣室は更衣のみの使用とし、ロッカーは使用できない。更衣室を控え場所としたり、食事をすることはできない。置き荷物は、忘れ物として扱う。また、競技会終了後、残った忘れ物は処分する。
- (9) 「競技会場における商業ロゴマーク等についての取り扱い規定」を厳守すること。
- (10) 「健康チェック表」の提出について
 - ① 本連盟ホームページからダウンロードした「健康チェック表」に、事前に必要事項を記入すること。「健康チェック表」は、公式練習日を含め毎日入館時に提出すること。
 - ② 公式練習日、大会期間中とも、外出後の再入館の際は、入館口での消毒・検温は行うが上記用紙の提出は必要ない。
 - ③ 「健康チェック表」の体温・体調については、入館2日前、1日前、当日の3日分を記載すること。
 - ④ 回収した「健康チェック表」は返却しないので、記載内容を写真等で保存しておくこと。
- (11) 入館前に手指消毒・検温を受け、発熱がないことが確認できたら入館する。入館時の検温で37.5度以上あった場合は、別の場所で再度検温する。それでも37.5度以上あった場合は入館できない。再入館する際も、手指消毒・検温を受けること。
- (12) 入館から退館時までの全ての場面で、人との距離（できるだけ2 m以上）をとって行動すること。

- (13) 水泳用具・飲食物・ストレッチマット等は、自分専用の物を用意し共用しないこと。室内履き、マイタオル・ハンカチ、脱いだ服を入れる袋のほか、必要であれば自分専用のストレッチマット等を持参すること。
- (14) 泳ぐとき以外は、原則として常にマスクを着用すること（更衣室・招集所・観客席・プールサイド・トイレなど）。レース前にはずしたマスクは、服のポケットか袋に入れること。（マスクは、選手イス・脱衣ボックスに直接置かない）。招集所内では、他の選手との十分な間隔をとって、マスクを外すことができる。
- (15) 招集所には、招集を受ける選手以外は立ち入ることはできない。選手は、招集所での選手間の会話、レース後の選手間の会話を控えること。
- (16) 大きな声での会話や声を出しての応援をしないこと。拍手・手拍子、スティックバルーンの使用は認められるが、メガホンの使用は禁止する。
- (17) 飲食については、指定場所以外で行わないこと。食事を摂取する際には個別に摂取すること。やむを得ない場合には十分な距離をとり、対面しないようにすること。また食事時の会話は控えること。ドリンクの回し飲みはしないこと。飲みきれなかったドリンクを、指定場所以外に捨てないこと。
- (18) 選手は、自分のレース終了後、なるべく速やかに退館すること。ミーティング等は控えること。

7 注意事項、その他

- (1) 全ての競技者は、競技終了後、予選・B決勝・決勝・タイムレース決勝を問わず、ミックスゾーンを通り退場すること。ミックスゾーンには、競技を終えた競技者以外は立ち入ることはできない。立ち入り制限区域を順守すること。
- (2) 決勝時・表彰時のビブスゼッケン着用義務を順守すること。
- (3) 公式掲示板を、更衣室入口付近に設置する。
- (4) サブプールに、リザルト・映像モニターを設置する。
- (5) 盗難防止のための貴重品の保管については、各自の責任において管理すること。
- (6) プログラム（予選スタートリスト入り）は、1部2,000円、決勝スタートリストは、1日分を200円で販売する。
- (7) テレビ放映
テレビ朝日の放映予定
- (8) インターネット配信
YouTubeにて、2日間の全競技をLIVE配信する。
- (9) 競技結果を、下記の公式サイトで確認することができる。
 - ① SEIKO競泳リザルト速報サービス (<http://swim.seiko.co.jp/>)
 - ② 日本水泳連盟公認モバイルサイト「スイムレコードモバイル」(<http://sp.j-swim.jp/>)